

一 日本国道路元標がスタート地

日本国道路元標は、日本橋の中央部分に埋め込まれている。実は、ここはかつて東京市道路元標があった場所だ。昭和40年代の道路改修に伴い東京市道路元標は撤去、日本橋北詰に移設され、代わりに日本国道路元標が設けられた。現在の日本国道路元標は、50センチ四方の小さなプレートである。自動車の流れが激しい通りの真ん中にあるた



日本国道路元標の複製。ここで立ち止まり写真を撮る人も多い



日本国道路元標の「本物」は、橋の中央に埋め込まれている



日本国道路元標複製の脇には東京市道路元標も保存されている



街道の基点らしく、各地への距離を示す里程標が置かれている



石造二連アーチ橋である日本橋は国の重要文化財に指定されている

寄り道ニュープラン

三越

日本橋北詰にあるのが、あの三越本館。三井高利創業による越後屋三井呉服店(のちの三越)を基礎として発展した三井財閥の本拠地である。現在の三井本館、国重要文化財(三越本館)の間の道は、広重の「名所江戸百景」にも描かれ、当時は富士山を望むことができた。この限界には1792年創業の、刃物の木屋など、老舗がいまも多く残る。



日本橋三越のシンボル、ライオン像



この突き当たりの方向に、かつては富士山が見えた

二 名水白木屋の跡地を発見

コレド日本橋手前の細い路地を左へ入ると、「名水白木屋の井戸」跡がある。この一帯は1662(寛文2)年に

「白木屋」が創業された地。白木屋は江戸時代に呉服店、明治以降は百貨店として栄えた。文豪・夏目漱石もこの地に縁が深く、作品から当時の白木屋周辺を偲ぶことができる。



白木屋とその境界は、吾輩は猫である「三四郎」にも登場する



1712(正徳2)年に掘られた井戸跡。白木屋の井戸水は大名や住民たちの用水として親しまれた

三 コレド日本橋に名残を

「COREDO(コレド)日本橋」は、江戸時代創業の呉服店・白木屋、のちの白木屋デパートがあった場所。1932(昭和7)年末にはいわゆる「白木屋火事」が発生し、14名の死者を出した。戦前世代にはおなじみだろう。白木屋は戦後、昭和30年代に東急傘下へ入り、のちに東急百貨店へと改称されたが、1999年



近代的なビルとして生まれ変わったコレド日本橋

閉店。現在のコレド日本橋に生まれ変わった。

池波正太郎の愛したカレーを食す



池波正太郎「銀座日記」などに登場するたいめいけん。写真は名物のカレーライス。650円

は、作家・池波正太郎が通った店としても知られ、ポークソーテーやカレーライス、オムライスなどが名物。東海道散策の手始めに、こちらで腹ごしらえというのはいかが？



日本橋たいめいけん
TEL 03-3271-2465
1F:年中無休、
2F:日曜・祭日定休